

研究調査報告書

教科名（社会科・歴史的分野）

項目		新しい社会 歴史（東書・2）
教育基本 法、学校教 育法の下 の中学校学 習指導要領 の教科 の目標と		<ul style="list-style-type: none"> 各章の終わりと次の章の初めの見開き2ページで、時代を貫く年表が掲載されており、時代の大きな流れ（古代・中世・近世等）や小学校の既習事項を確認することができる。 「私たちの歴史探検隊」のコーナーで、身近な地域の歴史について学ぶ活動を紹介し、郷土を愛する態度を育てる工夫が見られる。 我が国の歴史の中で残されてきた文化遺産を豊富に取り上げ、国宝や重要文化財、世界遺産にはマークを付し、我が国の伝統と文化に目を向け、尊重する態度を育成するようにしている。
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 見開き2ページで1単位時間とし、導入資料→「学習課題」→本文→「確認」の流れで構造化し、学習内容が確実に定着するようになっている。 各章の最後に「基礎基本のまとめ」のページがあり、重要語句の確認、穴埋め問題など基本事項の確認ができる。 <p><思考力・判断力・表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 各見開きの右下「確認」や「この時代の特色をとらえよう」「歴史学習のまとめをしよう」を設け、多様な言語活動によって時代の特色を捉えられるようになっている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う></p> <ul style="list-style-type: none"> 見開き左上に学習課題や資料の問いが設定されており、1単位時間ごとに主体的に考えさせる導入の場面が工夫されている。 <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭に我が国の国宝や重要文化財、世界遺産を紹介するとともに、文化史に十分な紙面を割き、伝統や文化を尊重する資質・能力を育成できるよう配慮されている。 <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 各章の終わりと次の章の初めの見開き2ページで、時代を貫く年表が掲載されており、時代の流れをイメージして確実に捉える工夫がされている。
	資料	<ul style="list-style-type: none"> 復元写真や想像図など、歴史を実感できる資料が豊富である。小さな資料は実物大で掲載してあり、大きな資料にはサイズを付して、生徒がイメージを持って学習できる工夫がされている。地図・グラフ等の図表も見やすい配色が使われている。
	表記 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 本文の語句には、関係のある資料と結びつけるための図番号が付してあり、学習内容を理解しやすくしている。 敬体の文章で、丁寧でわかりやすい本文により、一読して学習内容を理解できるようにしている。
総括	<p>資料を豊富に掲載して視覚的効果を高めている。絵画・写真・図表などの資料が鮮明で、各資料からの読み取りがしやすい。各時代の導入部では、小学校の学習の基礎の上に、中学校の学習を系統的に積み上げられるような活動ができるよう工夫されている。イラスト入りの年表等で歴史の大きな流れを把握しやすい。</p>	

研究調査報告書

教科名（社会科・歴史的分野）

項 目		中学社会 歴史 未来をひらく（教出・17）
教育基本 法、学校教育 法の下の中 学校学習 指導要領の 教科の目標 とのかかわ り		<ul style="list-style-type: none"> 各時代の最初に、日本・中国・朝鮮の年表が掲載され、「時代の変化に着目しよう」で時代の転換を意識させ、「学習のまとめと表現」でそれまで学んだ時代を大観させ、歴史の大きな流れを理解させるようになっている。 各時代の最後「学習のまとめと表現」のページに掲載された年表で、中国・朝鮮・世界と我が国との関係を矢印でつなげて示すことで、世界の歴史を背景に日本の歴史の流れを理解できるようになっている。 各時代に文化遺産の写真を掲載し、国宝マークを付して、文化の特色を考えるようになっている。
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭「歴史のアプローチ」のページで、歴史学習に必要な絵画資料や系図の見方などの説明があり、生徒に主体的に学んでもらう工夫がされている。 <p><思考力・判断力・表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 見開き2ページの右下「ふりかえる」「読み解こう」のコーナーで、本時で学習した内容を要約したり、説明したりする活動が設置され、言語活動の取り組みができるようになっている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 学習課題の明示により、課題意識を明確にでき、「ふりかえろう」「読み解こう」のコーナーや「学習のまとめと表現」での課題の取り組みを通して、生徒の主体的な学習ができるようにしている。 <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の歴史を調べる学習「郷土の歴史を探ろう」が、各時代ごとに設定され、郷土の伝統と文化の関心を高める学習となっている。 <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 「歴史の移り変わりを考えよう」のページで、小学校で学習した歴史上の人物を振り返り、時代区分や年表の見方などを学ぶ活動が設定されている。
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> 地図・グラフの資料の彩色が明るく、見やすい。 写真も鮮明で、特に白黒写真がはっきりしており、写真資料からの読み取りがしやすい。
	表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ふりがなの大きさが適切。行間が広めにとってあり、読みのつまずきが軽減される。 本文の意味のわかりにくい語句について、番号をつけて、欄外に説明が表記してあり、生徒の自主学習がしやすい表記になっている。
	総 括	<p>地図やグラフの資料の配色が工夫されており、資料からの読み取りがしやすい。また、巻末の年表は、全時代を一覧できる両開きの折り込みページになっており、時代の流れをつかみやすい。生徒に親しみやすいキャラクターを用いて、気づきや問い、学習のヒントなどが示され、共感しながら学習に取り組めるように工夫されている。</p>

研究調査報告書

教科名（社会科・歴史的分野）

項目		歴史 日本の歴史と世界（清水・35）
教育基本 法、学校教育 法の下の中 中学校学習 指導要領の 教科の目標 とのかかわ		<ul style="list-style-type: none"> 各章の最後「まとめてみよう」のコーナーにより、日本の歴史の動きを世界の動きを背景に理解させる学習を設けている。 日本史を理解する上で必要な世界史的な背景について、地図資料を効果的に掲載して丁寧に記述されている。 仮名文字、絵画資料の見方、郷土資料館の活用法、フィールドワークなどのテーマで特設ページが設けられ、文化遺産を尊重する態度の育成が図られている。
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 見開き2ページの1時間ごとに「まとめてみよう」のコーナーで、授業の学習内容を文章でまとめたり、整理させる工夫が見られる。 <p><思考力・判断力・表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 見開き2ページの右下「まとめてみよう」で、具体的課題が提示され、本時の学習を振り返り、自分の言葉で表現したりまとめることで、思考・判断・表現力の育成ができるようになっている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史上の事件や人物を取り上げたコラムや資料が随所に掲載され、生徒の興味関心を引き出し、多面的に歴史を考察できるようになっている。 <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 「もっと知りたい」のページで、神話と伝承、仮名文字、人物伝、留学生などを取り上げ、我が国の伝統や文化および世界に与えた影響などを提示し、歴史への愛情と国民としての自覚が育成できるようになっている。 <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 各章末に年表や写真などから各時代を振り返る「〇〇の時代をまとめてみよう」のページにより、歴史の移り変わりや出来事・事象の歴史的意義を考えられるようになっている。
	資料	<ul style="list-style-type: none"> 歴史地図や写真・文字資料など配色が豊かで、豊富に掲載されており、視覚的な効果を高めている。重要な世界地図を大きく掲載し、同時期の日本の歴史を学ぶ上で、効果的である。
	表記 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 文章表現は丁寧で易しく、読みやすい。 各ページ半分の幅に資料を掲載しているので、本文の掲載幅が狭くやや読みにくい。
総括	<p>資料が豊富で生徒の興味関心を高め、各章のまとめのページで、世界の動きとともに日本の歴史の動きを確認する工夫がされている。資料が豊富に掲載されているが、本文の量が少なめで、歴史の自主学習のための教科書としては、情報量がやや少ない。</p>	

研究調査報告書

教科名（社会科・歴史的分野）

項目	中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き（帝国・46）	
教育基本 法、学校教育 法の下の中 学校学習 指導要領の 教科の目標 とのかかわ	<ul style="list-style-type: none"> 各章の初め「タイムトラベル」のページで、各時代の想像図からイメージを大きくつかむことができ、時代を大観する土台作りとなっている。 文化史のページが充実しており（4ページ・豊富な資料）、伝統や文化の教養を深め、我が国の郷土を愛する心を養うよう配慮されている。 古代の日本形成については、東アジア諸国とのかかわりを重視した記述がされている。また、古代文明や宗教、近世のヨーロッパとの結びつきの記述が充実しており、日本への影響が理解できるよう工夫されている。 	
特色	特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 見開き1時間のページで、導入資料→「学習課題」→本文→「確認しよう」「説明しよう」の流れで構造化されている。 <p><思考力・判断力・表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 各部末の「学習を振り返ろう」では、「説明しよう」の課題が設定され、学習した内容を自分の言葉でまとめたり表現したりする表現力の育成ができるようになっている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって親しみやすいキャラクターを配置し、発問や気づき、学習の手がかりなどを提示して、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 文化史のページでは、文化を形成した人々の活動、人々の努力や工夫する姿などにも触れたり、随所に祭りや伝統行事を事例として掲載し、日本の伝統・文化への理解を促し、尊重する心を養えるようにしている。 領土をめぐる問題について特設ページを設けて、現在に至るまでの歴史的経緯を丁寧に解説している。 <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 各章末の「時代を振り返ろう」で、年表・地図・資料から学習内容を振り返り、時間的・空間的に知識を整理し、時代を大観する学習をすることができる。
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> 写真・図・地図資料が豊富に盛り込まれて、鮮明で、大きく、彩色も明るく、資料の読み取りがしやすい。導入資料は大判で掲載され、興味関心を高める。「人物コラム」は日本の歴史に足跡を残した人物を紹介し、歴史に親しみがもてるよう工夫されている。
	表 記 表 現	<ul style="list-style-type: none"> 各見開きは、本文・資料・側注などのレイアウトが統一され、授業・学習が進めやすく、知識の定着を促す構成になっている。
総 括	<p>各ページとも、レイアウトが統一され、本文と資料とのバランスがとれている。「技能をみがく」コーナーが充実しており、歴史学習の基礎的・基本的な技能が習得できるよう工夫されている。人権のコラムが各単元に盛り込まれ、人権教育の推進を図る工夫が盛り込まれている。イラストで各時代の様子をイメージしやすい工夫がなされているが、古代・中世等、歴史の大きな流れを把握する年表はみられない。</p>	

研究調査報告書

教科名（社会科・歴史的分野）

項目		中学社会 歴史的分野（日文 116）
教育基本 法、学校教育 法の下の中 中学校学習 指導要領の 教科の目標と		<ul style="list-style-type: none"> 各章の初めに、「地図で見る世界の動き」のページがあり、世界地図・年表とあわせて諸外国の歴史と日本との関わりを関連付けて捉えさせようとしている。 「先人に学ぶ」「歴史を掘り下げよう」のページで、各時代の文化、生活、防災、環境など様々な視点から歴史学習を補強し、興味関心を高める工夫が見られる。 世界の古代文明や宗教のおこりなど、世界史の教材が充実している。また、全単元を通じて、東アジアの地図や世界地図を掲載し、世界史の中の日本史として、広く国際的視野に立って理解できるようにしている。
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 見開き2ページを1時間授業としている。何を学ぶかを「学習課題」で明確に示され、本文の記述と資料が一体化して学習内容を捉えやすい。 <p><思考力・判断力・表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 各時代に「学習の活用・とらえよう！〇〇時代の特色」と「とらえよう！〇〇時代の転換」が設定しており、資料をもとに調べたり考えたりして、わかったことを自分の言葉で表現する学習活動ができるようになっている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 「歴史を掘り下げる」「先人に学ぶ」のページを設けて、生徒が興味・関心をもって主体的に学習に取り組む工夫がされている。 <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の国宝や世界遺産などを豊富に掲載している。また、文化財の保護・継承に大きな役割を果たした先人や現在の取り組みも紹介して、伝統や文化を大切にする態度を養おうとしている。 <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 各時代の前半に「時代の転換」を捉える学習活動が展開し、また、「まとめ」で習得した知識を活用して時代の特色を大きく捉える学習活動を設定している。
	資料	<ul style="list-style-type: none"> 写真資料・地図が大きく、鮮明に掲載されており、生徒の資料を読み取る意欲を喚起し、資料活用能力の向上を図るようにしている。 適所に文化財の拡大図を示して、仏像の表情や文化財の質感や色などが伝わるようになっている。
	表記 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 左ページの左端に、縦長の年表が示されており、今どの時代の学習をしているのか、時代の把握がしやすい。 平易な表現で、歴史の流れや因果関係をていねいに解説している。
総括	見開き右ページ下「学習の確認と活用」により、本時の学習を振り返る学習活動や、自分の考えを説明することを促す問いかけが提示されている。また、「言語活動コーナー」で、図版の内容を読み取ったり、思考・判断・表現したりする活動を示し、授業や生徒の思考の流れを重視した構成になっている。	

研究調査報告書

教科名（社会科・歴史的分野）

項目		新しい歴史教科書（自由社・225）
教育基本 法、学校教育 法の下の中 学校学習 指導要領の 教科の目標 とのかかわ		<ul style="list-style-type: none"> ・「序章歴史のとらえ方」では、年代の表し方と時代区分の解説がわかりやすく解説されている。 ・各章の始めで歴史の移り変わりや時代の大きな流れを理解させるページは見られない。 ・世界のおもな歴史、出来事、アジア・ヨーロッパ情勢を取り上げながら、日本の出来事を詳細に述べている。 ・「人物クローズアップ」や「もっと知りたい」のコーナーで、文化史や文化人について、日本の文化を広い視野に立って紹介し、歴史に対する愛情を高める工夫が見られる。
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もっと知りたい」のコーナーが充実しており、文化、人物、社会などの面から本文を補足して、歴史の興味関心を高め、理解を深める工夫が見られる。 ・「歴史豆辞典」で、100字程度の用語解説が各章のまとめとして掲載しており、基本事項の理解の一助となっている。 <p><思考力・判断力・表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まとめにチャレンジ」で、本時の学習を振り返り、まとめてみよう・説明してみようなどの課題が設定されており、思考・判断・表現力を高める工夫をしている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の最後「各章のまとめ」で、時代比較・人物比較・ひとこと作文などの課題が設定され、発展的な学習課題で理解を深めるようになっている。 <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・序章で地域の歴史の調べ方を具体的に例示している。また、神話や国名の由来、仏像の見方、日本の天皇、武士道と忠義などをコラムのページで解説し、幅広い知識と教養、日本人の道徳心や勤勉さなどを考える機会をもたせる工夫がされている。 <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に掲載されている歴史年表が、縦長に表されており、また、年号と西暦の対照表も掲載され、出来事・事象の時代把握をしやすくする工夫がされている。
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページとも本時の学習に関連する写真や図表を大きく掲載し、視覚的にわかりやすく学習できるよう工夫がされている。近現代史で、全体的に人物写真が一部ぼやけている。
	表記 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・一文が短く、簡潔で読みやすい。ふりがなも丁寧にふられている。常体で書かれている。 ・重要語句を太字であらわすとともに、見開きページごとに学習課題を設け、課題意識をもって学習に臨める工夫をしている。 ・他社と比べて、難解な語句（高校の教科書で使われるような語句）が多く見られる。
総括	<p>本文の記述と豊富な読み物資料によって、我が国の歴史の流れや文化の特色を具体的に学べるようになっている。中学生にとっては難解な語句が随所に使われており、資料から考えさせる場面が少ない。主体的な学習活動を促す例示がやや少ない。</p>	

研究調査報告書

教科名（社会科・歴史的分野）

項目		新しい日本の歴史（育鵬社・227）
教育基本 法、学校教育 法の下の中 中学校学習 指導要領の 教科の目標 とのかかわ		<ul style="list-style-type: none"> 各章の初めに「歴史絵巻」「〇〇の時代へようこそ」というページを設け、時代を大観し、時代の大きな流れや特色をとらえさせる工夫をしている。 各時代を代表する日本の文化遺産や修学旅行で訪れる京都・奈良の代表的な建築物や彫刻、日本のおもな遺跡・史跡などを美しいビジュアルで紹介し、伝統や文化を尊重する態度を育成する工夫がされている。 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることについて、各章「このころ世界は」のページで、日本と同時代の世界の視点でわかりやすく解説している。
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 見開き2ページ（1授業時間）で、学習課題を明確にし、重要語句・重要人物は本文・さくいんともに太字で表記し、わかりやすい構成となっている。 <p><思考力・判断力・表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 見開き右下「学習のまとめ」や各章末「歴史学習のまとめ」に取り組むことで、学習した内容を活用して、自分の言葉で表現するなど言語活動の充実を図る工夫がされている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域調査に出かけてみよう」「京都・奈良の文化遺産を調べてみよう」など聞き取り調査・グループ学習などの方法・事例を掲載し、作業的・体験的な学習により歴史への理解を深めることができるようになっている。 <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭カラーページで各時代を代表する芸術や文化遺産を取り上げたり、国家・社会・文化の発展などに尽くした歴史上のコラムのページが充実しており、我が国の歴史に対する愛情を育てる工夫がされている。 <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> 各章冒頭の「歴史絵巻」では「鳥の目」で歴史の流れを大観し、「〇〇の時代へようこそ！」では「虫の目」でその時代の特色をつかみ、時代の大きな流れと特色を理解できるよう配慮されている。
	資料	<ul style="list-style-type: none"> 各ページとも、上3分の1のスペースを使って、関連する資料を大きく載せ、生徒が視覚的に興味をもって取り組めるよう工夫がされている。とくに、写真・絵画資料の注目すべき箇所をさらにクローズアップして掲載し、資料の読み取りに配慮をしている。
	表記 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 本文は平易な言葉で、様々な歴史事象の意味や意義、事象間のつながりなどを丁寧に説明している。難解な用語には、欄外に補足をつけ、理解を助ける工夫をしている。
総括	<p>写真や図表などの資料を効果的に配置して、本文の理解が深まるようになっている。「歴史ビュー」「歴史ズームイン」「歴史の名場面」「なでしこ日本史」「人物クローズアップ」など多彩なコラムが生徒の多面的・多角的考察、公正な判断、適切な表現力を養うことができる。ただ、全体的にこれらの読み物資料が多く内容もやや難しい所もある。</p>	

社会科(歴史的分野)調査資料

1 内容別ページ数

	東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社
(1)歴史の流れと地域の歴史	14	9	2	11	14	13	5
(2)古代までの日本	44	38	52	38	44	56	51
(3)中世の日本	34	34	32	36	38	28	31
(4)近世の日本	44	42	56	52	50	44	54
(5)近代の日本と世界	98	103	101	97	98	97	98
(6)現代の日本と世界	37	31	27	28	36	44	26
索引	10	8	12	5	8	9	8
資料ページ(巻頭・巻末)	9	14	8	8	13	9	10
総ページ数	287	274	287	268	295	288	290

2 取り上げている人物・文化遺産

(1) 取り上げている歴史上の人物(数)

	東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社
原始・古代	21	16	20	19	15	20	23
中世	27	23	26	23	19	23	25
近世	31	27	40	28	28	33	44
近代	52	55	44	54	47	49	72
現代	6	4	5	7	3	6	8
合計	137	125	135	131	112	130	172

(2) 取り上げている文化遺産(数)

	東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社
原始・古代	16	16	21	15	13	18	19
中世	9	9	10	9	6	7	5
近世	10	11	8	7	7	3	6
近代	7	2	3	4	4	2	4
現代	0	1	0	0	0	0	0
合計	42	39	42	34	30	30	34

(3) 取り上げている国際関係・文化交流(箇所数)

	東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社
原始・古代	6	7	5	9	9	10	9
中世	5	5	4	4	5	5	4
近世	10	9	10	9	10	8	9
近代	18	19	16	18	20	25	22
現代	5	7	4	6	7	10	7
合計	44	47	39	46	51	58	51